

『題材名 レタリングと絵文字～スケッチブックの表紙を制作する～』

学校名 土佐中・高等学校

教員名 川田英二

対象学年：2年生 19名×2クラス

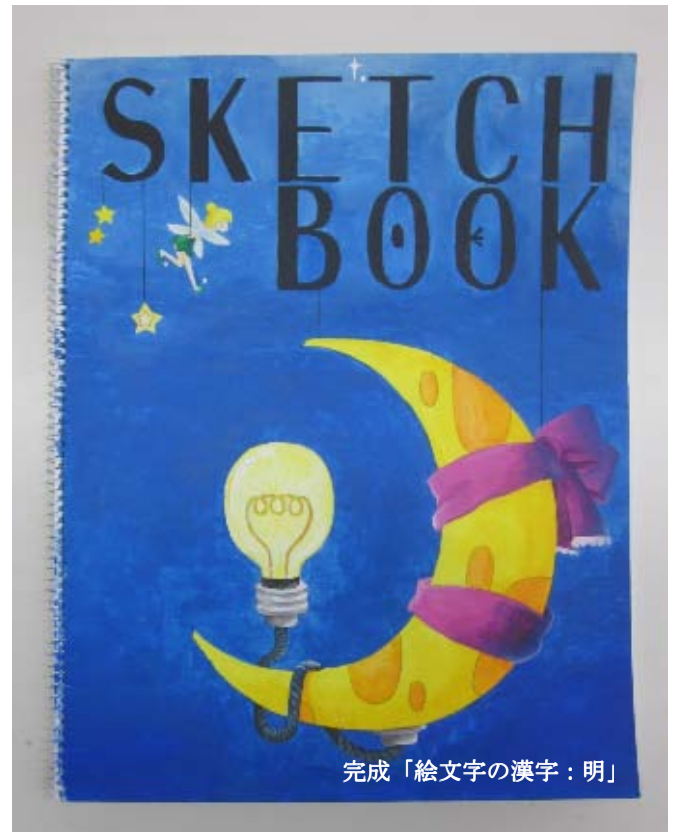
所要時間：10時間（週2時間）

コンセプト、題材設定の理由

高校生での最初の課題でもあり、中学3年間で学んだことを発揮させる為、デザインの要素及び絵画的要素を踏まえ、自由な発想力を活かした課題を設定。レタリングでは、情報、伝達、デザインとしての文字の役割や意味を再度理解させ、絵文字については、漢字の形態とその意味するイメージを、絵画の持つ豊かな表現力で、バランスよく組み合わせるよう生徒に取り組みさせた。

準備するもの：スケッチブック（表紙は無地）、
鉛筆、定規、アクリル絵具、
その他筆記用具、漢和辞典

手順：レタリング



手順：絵文字



① 漢和辞典から自分が思いつくまま、漢字を書きだす。



② 漢字一字に対して、その字の意味やイメージが字体とバランスよく組合さるようにデザインする。まずはスケッチ案を数点制作。



③ スケッチ案の中から1点選び、表紙に下書き。「絵文字の漢字：夢」



④ アクリル絵具で着色。

まとめ： レタリングは、情報を正確に伝えるという観点から、丁寧に、そして正確に仕上げるよう心掛け、取り組むことができた。絵文字では、最初に沢山の漢字を描きだした後、その字の意味するイメージと字体のバランスに注意し、できるだけ多くのスケッチ案を出すよう指示した（自分の中に多くの選択肢があることは、生徒自身の前向きな自信や行動力に繋がる）。そして、それらの中から最もよいデザインを選び、表紙全体のバランスを考え、完成させることができた。